

**製品名: ラミニン R ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13206**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	43kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RPSA
別名	RPSA; LAMBR; LAMR1; 40S ribosomal protein SA; 37 kDa laminin receptor precursor; 37LRP; 37/67 kDa laminin receptor; LRP/LR; 67 kDa laminin receptor; 67LR; Colon carcinoma laminin-binding protein; Laminin receptor 1; LamR; Laminin-binding pr
遺伝子 ID	3921.0
SwissProt ID	P08865
免疫原	抗血清はヒトラミニン R 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 166-215

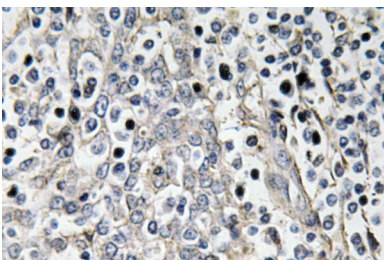
**背景**

ラミニンは細胞外マトリックス糖タンパク質ファミリーであり、基底膜の主要な非コラーゲン性構成成分です。細胞接着、分化、遊走、シグナル伝達、神経突起伸展、転移など、様々な生物学的プロセスに関与していることが示唆されています。ラミニンの作用の多くは、細胞表面受容体との相互作用を介して発現します。これらの受容体には、インテグリンファミリーに属するものや、非インテグリン系ラミニン結合タンパク質が含まれます。この遺伝子は、高親和性の非インテグリン系ラミニン受容体 1 をコードしています。この受容体は、67 kD ラミニン受容体、37 kD ラミニン受容体前駆体 (37LRP)、p40 リボソーム関連タンパク質など、様々な名称で呼ばれています。ラミニン受容体 1 のアミノ酸配列は進化を通じて高度に保存されており、重要な生物学的機能を持つことを示唆しています。ラミニン受容体の転写産物のレベルは、機能において高いことが観察されています。40S リボソームサブユニットの組み立てや安定性に必要です。40S リボソームサブユニット成熟の後期段階で、20S rRNA 前駆体から成熟 18S rRNA への処理に必要です。ラミニンの細胞表面受容体としても機能します。基底膜への細胞接着、および結果として生じるシグナル伝達経路の活性化に役割を果たします。細胞運命決定および組織形態形成に役割を果たしている可能性があります。病原性プリオンタンパク質、ウイルス、細菌など、他のいくつかのリガンドの受容体としても機能します。、その他:脊椎動物では、37/67 kDa ラミニン受容体が進化の過程で二重の機能を獲得したと考えられています。このタンパク質は、タンパク質合成において重要な役割を果たすリボソームタンパク質 SA から、ラミニン結合活性を持たず、ラミニン結合活性を持つ細胞表面受容体へと進化した。、その他:このタンパク質は、脊椎動物系統において特にラミニン受容体としての第二の機能を獲得したと考えられる。、PTM:アシル化。アシル化は、単量体 37 kDa ラミニン受容体前駆体 (37LRP) から成熟した二量体 67 kDa ラミニン受容体 (67LR) への変換の前提条件であり、膜結合のメカニズムを提供する可能性がある。、PTM:細胞表面でストロメリシン 3 (ST3) によって切断される。ストロメリシン 3 による切断は、細胞と細胞外マトリックスの相互作用を変化させるメカニズムである可能性がある。、類似性: リボソームタンパク質 S2P ファミリーに属します。、細胞内局在: 67LR は細胞膜の表面に存在し、その C 末端ラミニン結合ドメインは細胞外リガンドにアクセスできます。37LRP は細胞表面、細胞質、および核に存在します。、サブユニット: モノマー (37LRP) とホモダイマー (67LR)。小さなリボソームサブユニットの構成要素です。成熟リボソームは、小さなサブユニット (40S) と大きなサブユニット (60S) で構成されています。40S サブユニットには、約 33 種類のタンパク質と 1 分子の RNA (18S) が含まれています。60S サブユニットには、約 49 種類のタンパク質と 3 分子の RNA (28S、5.8S、および 5S) が含まれています。RPS21 と相互作用します。少なくとも LAMB1 を含む複数のラミニンと相互作用する。MDK と相互作用する (類似性による)。PRNP と相互作用する。

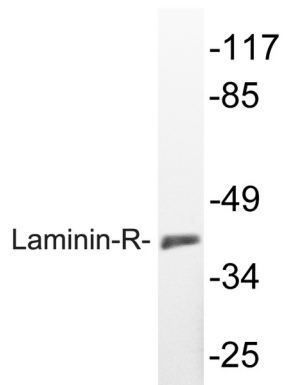
## 研究分野

リボソーム;

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺組織におけるラミニン R 抗体の免疫組織化学分析。



ラミニン R 抗体を使用した K562 細胞溶解物のウエスタンブロット分析。